

CASBEE広島における重点項目の環境配慮設計概要

(仮称)広島八丁堀開発計画

CASBEE-広島 2014年版

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配慮項目	評価点	重み係数	内 訳			
■1.「地球温暖化対策」の推進						
1.1 建物の熱負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 屋内の外部に面する部分には断熱材を採用した。	3.0	0.61	Q1	室内環境	2	温熱環境
	0.0	0.00			2.1	室温制御
	4.5	0.39	LR1	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制
小計	3.6	0.07				
1.2 自然エネルギーの利用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください トップライトにより自然採光システムを計画した。	4.5	1.00	LR1	エネルギー	2	自然エネルギー利用
小計	4.5	0.06				
1.3 設備システムの高効率化						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 全館LED照明の採用を行い、便所は人感センサを設置し、ランニングコストを低減する。空調設備は高効率機器を採用する。	4.0	1.00	LR1	エネルギー	3	設備システムの高効率化
小計	4.0	0.29				
1.4 設備システムの効率的運用						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 各テナント毎に計量単位を分け、個別に計量が可能な計画としている。	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用
	3.0	0.50	LR1	エネルギー	4	効率的運用
小計	3.0	0.11				
1.5 資源・マテリアル対策						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。□ 内装仕上げ材を乾式工法とし、躯体と仕上げが容易に分別できる構造とした。	4.0	0.10	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.11	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.05	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護
	3.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	3.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	0.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
	4.0	0.17	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減
小計	3.3	0.34				
1.6 ライフサイクルCO2排出率						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください 一般的な建物よりも断熱性能を高め、高効率機器を採用した。	3.3	1.00	LR3	敷地外環境	1	地球温暖化への配慮
小計	3.3	0.14				
1.「地球温暖化対策」の推進の評価						
	3.5	0.69				
■2.「ヒートアイランド対策」の推進						
2.1 温熱環境の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 12階屋根に屋上緑化を行い、熱負荷低減に配慮した。	3.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出
	3.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮
	3.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
小計	3.0	0.97				
2.2 交通負荷抑制						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 附置義務台数を満足する駐車場を計画した。	3.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮
小計	3.0	0.03				
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価						
	3.0	0.19				
■3.「長寿命化対策」の推進						
3.1 耐用性の向上						
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 空調換気設備の屋外のダクト類は全てガルバリウム鋼板を採用し、耐候性に配慮した。 空調・給排水配管の材質は更新必要間隔の長いものを中心に選定した。	3.0	0.18	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.27	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	4.0	0.05	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.05	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	5.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性
小計	3.6	0.42				
3.2 設備の更新性						
(コメント) ※設計の計画段階に配慮した事項を記載してください。 基本的に屋外に設備配管、配線類を通すことで、更新や修繕の際の工事が比較的容易になるように配慮した。	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性
	5.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性

1-目標値に。	5.0	0.10	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性
	3.0	0.20	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペースの確保
小計	3.4	0.58								
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)	3.5	0.12								
■重点項目の総平均(上記3項目)	3.4									